

平成29年度 子ども大学はにゅう 学習の記録

～子ども大学はにゅう学習の記録～

1日目：9月16日（土曜日）

2日目：10月21日（土曜日）

3日目：11月18日（土曜日）

4日目：12月9日（土曜日）

1日目：2016年9月16日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前 9:00～9:30	入学式		埼玉純真短期大学
午前 9:45～10:30	今日からみんな お友達	金子恵美子先生 (埼玉純真短期大学)	
午前 10:40～11:40	羽生実業高校の 農産物を学習し よう	原口茂久先生 服部真紀子先生 (羽生実業高等学校)	

今年も第7期の「子ども大学はにゅう」が開催されました。

昨年から導入された、サポーター制度。

子ども大学を卒業された中学生が、今度は運営側で小学生のサポートを行うというものです。

今回サポーターを務める、11名の皆さんそれぞれが、実に立派で堂々とした立ち振る舞いです。



●受付

受付を担当するのもサポーターの役目です。

受付開始に伴い、次々にお子さんと親御さんがいらっしゃるなか、一人一人に的確に対応していました。

子どもたちの笑顔からはこれからの学びに対する、ワクワクとドキドキが感じられました。

今回の参加者は、4年生7名、5年生13名、6年生4名の計24名です。



●入学式

いよいよ、第7期子ども大学はにゅうが始まります！

まずは開会のことばとして、埼玉純真短期大学の伊藤道雄先生よりご挨拶をいただきました。そして、埼玉純真短期大学の学生（1年生）による司会で、進行していきます。

まずは、藤田利久学長（埼玉純真短期大学）、秋本文子副学長（羽生市教育委員会教育長）よりお言葉を頂きました。

これからの学びにつなげ、それぞれの夢や希望に向かって行く上で、欠かせない言葉の数々に、子どもたちの目も真剣そのものです。



●グループの役割決め

今回の子ども大学も、実に多くの小学校から参加をしていただきました。そのため、「はじめまして」という子も多く、学年も4～6年生とそれぞれです。最初は緊張した様子でしたが、サポーターの方達がすぐに話しやすい雰囲気を作っていました。あっという間に話し合いが盛り上がり、各グループでリーダー・副リーダー・発表係が次々に決まっていきました。



●1限目：「今日からみんなお友達」

第7期子ども大学はにゅう、記念すべき最初の講義は、金子恵美子先生（埼玉純真短期大学）による「今日からみんなお友達」です。

はじめに、誕生日（1月1日→12月31日）の順に輪になって並ぶという活動を行いました。「直接話してはいけない」というルールがあり、ジョスチャーなどを用いて並んでいきます。並び終わった後、順に誕生日を言っていき、答え合わせを行いました。見事1月～12月に並ぶことができました。

また、「船が沈没寸前で、もし無人島に3つまで荷物を持てるとなったら、何を持ち出しますか？」という問いに、みんなで相談しあって、意見が飛び交いました。水やライター、釣り具など必需品である品はもちろん、「カメラ」というユニークな意見もあがりました。理由を聞くと「なるほど～」と納得。子どもの想像力には本当に驚かされます。



●2限目：「羽生実業高校の農産物を学習しよう」

2限目は、羽生実業高等学校の原口茂久先生と服部真紀子先生による「羽生実業高校の農産物を学習しよう」が行われました。

羽生実業高校で育てた、梨、りんご、ブルーベリーなどを用意していただきました。それらを、子どもたち自らが包丁を握り、皮をむいて、切っていきます。初めて包丁を握る子も多く、見ている先生や親御さんの方が、ハラハラ・ドキドキ。心配そうに見つめます。

子どもたちも安全に気をつけながら、無事に果物をカットできました。

そうして、カットできた果物の糖度を図っていきます。実際に糖度計を用いて、果物の糖度を計って行きました。糖度の高い果物は食べてみると、とても甘く、低い果物はとても酸っぱかったです。

数値で計ったものを、自分の舌で感じるという非常に貴重な体験ができました。



以上